

新型コロナウイルス感染症に対する市の対応について

令和2年12月24日
伊丹市長 藤原 保幸

2020年は新型コロナウイルス感染症が、世界中の人々の生活に大きな影を落とした一年でした。国内では12月21日には累計感染者数が20万人を超え、「第3波」と呼ばれる感染拡大で、首都圏など大都市部に加え、地方都市でも増加ペースが加速しています。

市民の皆さまにも、長期にわたりできるだけの不要不急の外出自粛をお願いし、ご不便をおかけしておりますが、特にこの年末年始には以下の事項につき、ご注意くださいますようお願いいたします。

- ・東京、大阪など、感染拡大地域からの帰省は、できるだけ自粛すること
- ・忘年会、新年会は、できるだけ自粛すること
- ・初詣は、混雑する時期を避け、境内では長時間の滞在や大声での会話、飲食を自粛すること
- ・初詣や成人式などの行事の前後、リスクの高い施設（接待を伴う飲食店、酒類の提供を行う飲食店、カラオケなど）への出入りなど、行動に注意すること

命と暮らしを守るためには、お一人おひとりが年末年始を静かに過ごすことが求められています。市民の皆さまにおかれましても、なお一層のご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

一方、欧米では新型コロナウイルスワクチンの接種が開始されました。本市におきましても、春には医療関係者から始めて、高齢者や基礎疾患を有する方へと順次、希望する全ての市民にワクチン接種を行う予定として体制整備を進めております。今後の安心な医療体制をはじめ、社会の活力を取り戻すためにも、重要な機会になるものと考えておりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。